

健全な財政運営を目指して

一般会計の歳入総額は75億3,275万7千円、歳出総額は72億2,517万1千円となり、元年度と比較すると歳入で21億724万2千円の増額(38.8%)、歳出では20億5,324万3千円の増額(39.7%)となりました。

歳入では、新型コロナウイルス感染症対策で行った特別定額給付金事業や地方創生臨時交付金の増加などにより国庫支出金(補助金)が18億681万円増額となったことが要因です。

歳出においても、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯臨時応援金などの町独自事業や持続化給付金交付事業などの町内事業者向け支援が増加しました。その中でも特別定額給付金事業により、総務費が13億7,972万4千円の増額となったことが要因となります。

町の家計簿

キラッと輝くまちづくり

令和2年度の一般会計と特別会計の決算が、町議会9月定例会で認定されましたので概要をお知らせします。 ■ 企画課財政係 ☎74-3134

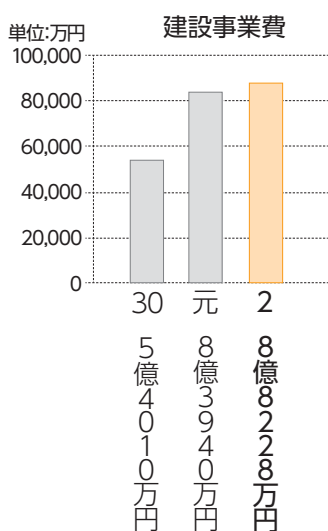


新屋小学校

小中学校に全児童生徒用のタブレットを導入

町の財布の中身を4つの視点からチェック

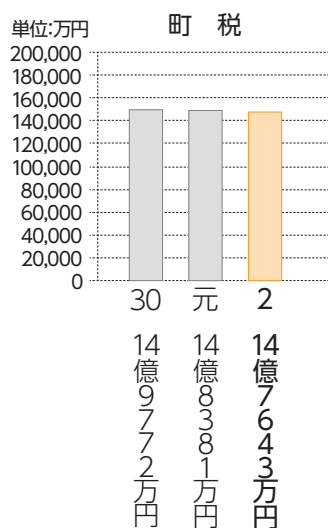
(棒グラフは平成30年度から令和2年度の推移)



ムダなく使われたか
歳出の状況

建設事業費は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、学校内LANネットワーク整備や住環境改善助成(住宅リフォーム補助等)などを実施しました。また、防災行政無線デジタル化整備事業、認定こども園の建設事業、(仮称)甘楽PAスマートIC整備事業などの建設事業実施により、5.1%の増加となりました。

建設事業などに借金をした返済については、昨年度と同水準で、0.1%の減少となりました。



財源は安定しているか
歳入の状況

(単位:万円)

内訳	2年度	元年度	対前年比
町民税(個人)	5億4,966	5億5,033	▲0.1%
町民税(法人)	5,193	6,907	▲24.8%
固定資産税	7億6,621	7億5,679	1.2%
軽自動車税	5,135	4,818	6.6%
町たばこ税	5,728	5,944	▲3.6%
計	14億7,643	14億8,381	▲0.5%

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う景気後退により町民税(法人)は24.8%減少しましたが、固定資産税、軽自動車税が増加したことにより、町税全体では、0.5%の減少となりました。

開園に向けて建設工事が進む認定こども園



一般会計決算額

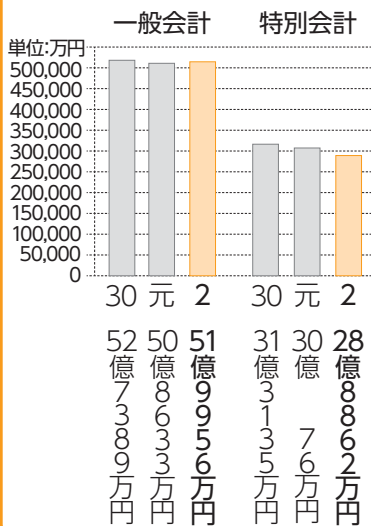
歳入 75億3,276万円

●歳入		(単位:万円)		
内 訳		2年度	元年度	対前年比
自主財源	町 税	14億7,643	14億8,381	▲0.5%
	使用料および手数料	8,844	1億2,913	▲31.5%
	繰入金	4,173	1億8,946	▲78.0%
	繰越金	2億5,359	2億3,057	10.0%
	諸収入	2億5,273	1億7,479	44.6%
	分担金・負担金・財産収入・寄付金	5,017	7,071	▲29.0%
	計	21億6,309	22億7,847	▲5.1%
依存財源	地方交付税	18億1,533	17億4,561	4.0%
	国庫支出金	22億7,464	4億6,783	386.2%
	県支出金	3億4,729	3億3,366	4.1%
	町 債	4億9,647	1億9,160	159.1%
	譲与税、交付金など	4億3,594	4億 834	6.8%
	計	53億6,967	31億4,704	70.6%
合 計		75億3,276	54億2,551	38.8%

歳出 72億2,517万円

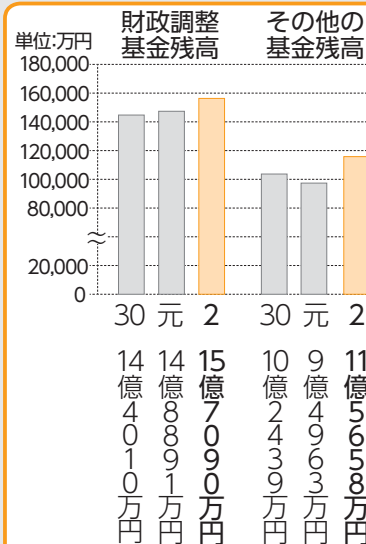
●歳出		(単位:万円)		
内 訳		2年度	元年度	対前年比
議会費	7,434	7,381	0.7%	
総務費	21億3,853	7億5,881	181.8%	
民生費	13億4,669	12億9,596	3.9%	
衛生費	4億1,043	4億 479	1.4%	
労働費	1	2	▲50.0%	
農林水産業費	3億2,430	4億8,870	▲33.6%	
商工費	3億8,723	1億1,135	247.8%	
土木費	5億9,921	6億3,760	▲6.0%	
消防費	5億 282	2億8,372	77.2%	
教育費	7億5,231	6億6,990	12.3%	
災害復旧費	2億8,280	4,054	597.6%	
公債費	4億 650	4億 673	▲0.1%	
合 計	72億2,517	51億7,193	39.7%	

※公債費…借金の返済額



返済に努めているか
借金(町債)の残高

一般会計では、2年度に防災行政無線デジタル化整備事業、台風19号災害などで町債の借入を行い4億9,647万円の借金をしました。元金分の返済額が3億8,324万円でしたので、残高は前年度末に比べて1億1,323万円の増加となりました。特別会計では、農業集落排水、公共下水道合わせて1億3,890万円の借金をしましたが、元金分の返済額を下回りましたので、残高は減少しました。今後も後年度の負担を考慮した借入、返済に努めます。



もしもの時の蓄えは
大丈夫か 貯金(基金)の残高

2年度に基金に積み立てた金額は2億2,067万円です。これは、節約してできたお金や寄付金などを貯金したものです。そのうち、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金は、8,199万円増加して15億7,090万円となりました。その他の基金残高は11億5,658万円で、基金全体では前年度比11.8%増の27億2,748万円となっています。基金残高の増加は、老朽化した公共施設の修繕などに備える公共施設等整備基金を新設し、積立を行ったことが要因です。

特別会計決算額

(単位：万円)

事業名	歳入総額			歳出総額		
	2年度	元年度	対前年比	2年度	元年度	対前年比
国民健康保険	15億4,527	15億9,147	▲2.9%	14億7,844	14億9,854	▲1.3%
介護保険	12億7,483	12億4,947	2.0%	12億3,949	12億3,854	0.1%
農業集落排水	1億3,245	1億4,118	▲6.2%	1億3,190	1億4,062	▲6.2%
公共下水道	5億3,511	5億 657	5.6%	5億3,450	5億 591	5.7%
後期高齢者医療	1億4,921	1億4,365	3.9%	1億4,813	1億4,150	4.7%

より詳しい内容を
公開しています



役場と甘楽町図書館（ら・ら・かんら）に決算書を備えています。業務時間内に誰でも閲覧することができます。また、町ホームページでもご覧いただけます。



水道事業会計決算額

(単位：万円)

年度	収益的収支（税抜）		資本的収支（税込）	
	収入	支出	収入	支出
元年度	2億4,411	2億2,449	178	1億5,902
2年度	2億4,024	2億 965	3億1,964	4億8,669

※資本的収支は、白倉浄水場改修工事などにより増額となりました。

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。



改修工事が進む白倉浄水場

監査委員の視点

『令和2年度
甘楽町決算審査に思う』

代表監査委員 山田利和

令和2年度、甘楽町では第5次総合計画「KANRAプラン・輝き」に基づき長年の懸案であった防災行政無線デジタル化整備事業（2カ年計画）に着手し、認定こども園建設事業、台風19号の災害復旧の繰越事業、新型コロナウイルス感染症対策事業等が行われました。

新型コロナウイルス感染症により、経済と人々の活動が一時停止し、甘楽町でも学校の一斉休校や町職員も分散出勤となりました。その後、感染症対策として町民生活応援事業、経済対策事業など矢継ぎ早に対策が実施され、この支出には国庫支出金18億681万円、地方創生臨時交付金3億8,828万円、町の一般会計から4,890万円が充てられました（一部次年度に繰越）。



決算書類の審査 山田利和代表監査委員（右）
富岡朝男監査委員（中央）

8月から9月にかけて緊急事態宣言が発出されました。このようなコロナ禍がいつ収まるか見通しがつかない状況ですが、甘楽町ではコロナワクチンの接種も順調に進み、かつ町民の3密の回避等節度ある行動で感染は最小限で済んでいるように聞いております。

今後も、コロナウイルスの感染に対する各人のリスク管理が欠かせない日々が続きますが、自身や家族そして地域の皆さまが健康な日を送れますよう、安全な町づくりに協力していきましょう。